

就労継続支援B型

平成29年度 事業計画

(1) 開所について

開所日数 253日

- ・活動内容を更に検討（利用者の意向を反映させる。）
- ・特別開所（土・日）余暇支援、運動支援、通常作業日にて対応する。
参加人数に合わせて、小グループへの対応も検討する。
- ・喫茶、工房も含めた活動、それぞれでの活動を状況に合わせて対応する。

(2) 利用者について

受け入れ活動を積極的に実施していく。

- ・見学、実習の積極的受け入れを行う。
- ・事業所説明会などへの参加、野いちごを知って頂く機会とする。
- ・新規利用を希望する利用者については、新規利用者会議にて受け入れを検討する。
- ・利用者の訴えや生活全般の様子を話し合い支援力の向上を目指す。
- ・対応会議（ケアカンファレンス）を随時、行い問題解決につなげていく。

(3) 作業について

目標工賃 12,000円（28年度 11,745円）

- ・工賃アップに向け、様々な取り組みにチャレンジしていく。

下請け作業

- ・現在の協力事業所からの請負を継続。（工賃、作業の両面から新規を開拓する。）
- ・作業スケジュールに沿った計画的受注を実施する。

喫茶営業

- ・状況に合わせて、きめ細かな人員配置。
- ・積極的な営業活動にて、売上アップを目指す。

施設外作業

- ・除草、清掃などの請負作業
- ・資源回収への取り組みを継続・見直し（ヒバリヤ、エコプラザ）
- ・出張販売（焼津市役所、地域福祉課、藤枝特別支援学校焼津分校）の継続

自主製品

- ・コーヒー、紅茶の生産を見直し、新製品の生産、販売を検討。
販売方法、販促手段については、内容の見直しを含め検討していく。
- ・静岡県作業所連合会「みんなのお店、わ」静岡県総合社会福祉会館シズウエル1階「ともの店」の販売にも力を入れる。

店舗の販促に頼らず、独自でも季節行事に合わせた販促手段等を検討する。

定期的に店舗巡回を行い商品の動向や情報収集などを行う。

(4) 就労支援について

作業活動を通して、技術や知識を高めていく中で、就労への意向、より良い工賃への意向がある利用者を中心に就労支援を行っていく。

- ・就労意向のある利用者を中心に、計画的に施設外作業、体験を計画的に行う。